

【協力会社紹介】東洋機械株式会社

昭和22年宮城県仙台市に創業し今年で76年目を迎えました。現在では仙台市青葉区に本社を置き、八戸、郡山、新潟の各出張所と青森、村山の各派出所、名取工場、盛岡工場が中心となり事業を展開しています。



主な事業は、鉄道設備保守に使用されている特殊車両の点検整備・改良の他、車両メーカーの販売代行、部品調達、取引先のニーズに合わせた特殊車両及び保線作業用各種機械器具の製造・開発を手掛けています。

○当社の課題

- ・技術継承と向上
- ・車両数増加に伴う事務作業(特に営業業務)の体制強化と効率化推進

○重点実施事項

- ・社内監査体制の構築と推進
- ・整備車両拡大に対応した整備能力の実現
- ・社員のモチベーションの向上(社風改善・エンゲージメント向上)
- ・組織成熟度の向上

○若手育成の取組み

- ・OJTに加え、外部教育機関を活用したOFF-JT(在職者訓練)の推進
- ・技術認定制度の導入により、技術力向上と共に技術手当が増加する仕組みを構築
- ・作業マニュアルの作成(今後は動画マニュアルの作成も検討)

○社長のコメント(佐々木社長)

中期経営方針を基に、組織・賃金・人事考課の改革を推し進めています。100年企業を目指し、働いていて良かったと思える会社、働きたいと思われる会社になることを目標に掲げています。

重点実施項目については社員一丸となって取り組んでおり、活性化を感じています。更なる進化を目指し、社風改善・エンゲージメント向上を目的に新たに顧問を招き入れました。

○社内監査の導入

2023年9月、MTT部品交換時に誤って交換部品を損傷させ、その後本来行うべき手続きを行わず、後日油漏れを発生させてしまいました。この事象を受け、作業品質向上を目的に定期検査終了後に技術本部による監査を行う体制にしました。



○社内教育

部外教育機関によるプロジェクト管理技法研修を2023年10月12日～13日に実施し、16名が受講しました。



また、岩手県立盛岡工業高等学校、福島県立郡山萌世高等学校にてインターンシップを実施しました。



○福島支店からの表彰

2023年12月14日に、庭坂配備のMCの燃料タンク付近からの燃料滲みを発見し、関係箇所と調整のうえ早期修繕を実施したことに対し、福島支店より感謝状表彰をいただきました。



《職場のホープ紹介》

○岡本 秋生(おかもと あきお) 32歳

2018年6月入社の岡本さんは、高卒中途採用の技術主任で、現在新潟出張所のグループ長を務めています。

前社で第一建設工業のMTT整備に携わり、MTTの整備がしたいと当社に入社しました。常に冷静沈着、的確な対応と指示でグループを束ね、皆の信頼を得る2児のパパです。

《鉄道経験》6年

《特技》ギター演奏

《趣味》車・バイクの整備

《夢》息子と一緒に車やバイクの整備をすること。

《抱負》機械整備に対する現状の知識・経験に満足せず、日々勉強する。



○齋藤 賢(さいとう すぐる) 40歳

2013年7月入社の齋藤さんは、社会人採用の技術主任で、主にMTT、BRの整備を行っています。

仕事にまじめで何事にも責任感を持ち、育休明けにも関わらず日々後輩への指導にも励んでいます。盛岡工場の将来を担うリーダーです。

《鉄道経験》11年

《特技》機械整備(自動車)

※技能コンクール全国大会出場経験あり

《趣味》桜鱒・山女釣り

《夢》キングサーモンを釣る

《抱負》お客様に笑顔の花を咲かせられる様なサービスを心掛ける。



【編集後記】線路部線路課 松尾

仙建工業(株) 本社線路部線路課の松尾です。2021年7月に前任の佐藤次長(現:福島支店安全部 佐藤部長)からバトンを受け、2年9か月『絆』編集長を務めさせていただきました。

在任中は上級軌工管理制度導入時の号外発行など様々な経験をすることができましたが、『絆』の発行を通じて各社、各所の様々な人、取組みを知ることができたことが、自分にとって一番の財産になりました。

後任は同じく線路部線路課の阿部担当課長になりますので、今後とも変わらずのご支援のほどよろしく願いいたします。

ありがとうございました。

松尾 善紀